

既習事項を活用させる算数科授業

2年2組の算数「九九のきまり」の授業を参観しました。まず、復習として「かけ算では、かける数が1増えると、答えはかけられる数だけ増える」というきまりを押さえました。本時は、りんごの数を求める問題。式にすると「 4×12 」。「今までやったことと比べて何がレベルアップしている？」と教師が問うと、児童は、かける数が2けたになっていることに気がきました。そこで、本時のめあて「九九にないかけ算の求め方を考えよう」につなげます。児童はタブレットに送られた図を多様に分割しながら「 $12 + 12 + 12 + 12 = 48$ 」「 $8 \times 6 = 48$ 」「 $4 \times 9 = 36$, $36 + 4 = 40$, $40 + 4 = 44$, $44 + 4 = 48$ 」「 $4 \times 9 = 36$, $4 \times 3 = 12$, $36 + 12 = 48$ 」等の求め方を見出しました。既習事項を使ったら解けるということを実感させる授業でした。

